
蒼の世界

水元愛

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

蒼の世界

【Nコード】

N2717H

【作者名】

水元愛

【あらすじ】

ハルという一人の女性が、たまたま辿りついたこの街で起こる出来事。その中でカノジョは色々なことを体験する

小さな世界に息づく色は

ふっと、風の通りすぎる音がした。

ここは、この島の一番端に近い街。

まさか自分がここに来ることになるなんて、思いもしなかった。

人口12万の小さな都市。けどそこには、色んな人の心が息づいているんだ。

小さな世界に色づく意味は

ナウ　と猫もうねるような気だるい春の午後。

ハルは、北の短い春を楽しんでいた。

「お前には春のような長閑な人になってほしいんだよ」

顎まで伸びた髭を触りながら、ハルの父親が名前の由来を伝えてくれたとき長い間の疑問がとけた。

冬生まれのハルは、長い間自分の名前の由来を知らなかったのだ。

「そう・・・」

この街の坂を少し早足で上りながらハルは呟いた。

この街の冬はどんなだろう・・・」

CDショップを経営している父のもとに生まれたハルは、比較的伸びやかに育てられた。

冬生まれといっても、ハルは関西に住んでいたので、冬の厳しさを知らない。

夏の気温は30、冬の気温は-30と激しい変化を繰り返すこの街の季節をハルはまだ知らなかった。

坂の下は、遠くまで様々な家が軒を連ねている。

積雪・凍結 というものから生き延びるため、この島の人たちはさまざまな工夫をして来たのだろう。

足元にすり寄ってくる猫を撫でながら、ハルは遠くまで来た今までのことを思い出そうとしていた。

「ごめん、ハル再来週から違う街に行かなきゃならない。」

そうケイトに、学祭の楽しい宴を背にそう告げられたのはつい3週間ほど前の話だった。

ハルには、ずっと叶えたい夢があった。

そのために大学卒業後も勉強をしていた。

「いつか、いつか困っている人の話を聴ける人になりたい」

それがハルの大きな夢だった。

福祉の世界で生きたいと望んでいたハルは現場経験も積んでいた。けど、ハルにとってケイトも同じくらい大切な夢で、なくしたくない存在だった。

今いる世界で、転職についていく女の人はどうな気持ちなんだろう、とハルは考えた。

自分の夢、それを叶えるためには何かを失うこともある。

ハルは以前働いていた施設で生涯その施設の職員として誇りを持って働きながら一人で身を立てている女性をみてきた。

と同時に

好きな人について行くために、仕事を保留してきた人もみてきた。

ハルにはどちらか一方を選ぶことなど出来なかった。ただ選択する期限が迫ってくる中で

ハルは

「ケイトについて行く。」

という結論を自分の中で出しこの地に辿りついたのだった。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2717h/>

蒼の世界

2011年1月15日22時50分発行